

邦楽コース

過去から未来へ継承する
本物の音を目指します。



古典から現代まで、幅広い年代の音楽を通して、各楽器の基礎能力と表現力を向上。独奏をはじめ、様々な合奏形態を経験することにより創造性のある音楽技術はもちろん、楽器の歴史や洋楽の知識まで合わせて学びます。楽器は箏、三絃、尺八から学生の希望に合わせて選択可能です。

PICK UP

	<h3>邦楽楽器</h3> <p>箏、三絃、尺八のいずれかを選択し、古典から現代までの幅広い年代の音楽を通して各楽器の基礎能力と表現力の向上を目指します。</p>		<h3>邦楽合奏</h3> <p>独奏だけではなく、教員やプロとの合奏を随時経験できます。技術だけではなく演奏以外の所作や振舞い等の指導を受けて、総合的な実力向上を図ります。</p>
<h3>音楽大学だからこそ</h3> <p>洋楽器とのアンサンブルなど、様々な合奏形態を体験することで、楽器の歴史や洋楽の知識、文化的背景まで学習します。</p>		<h3>邦楽演奏会</h3> <p>年1回「邦楽演奏会」を実施し、舞台での演奏を経験。演奏以外の運営やプロセスも学習します。</p>	

学びのポイント

Point 1
箏(生田流)、三絃(地歌)、尺八(都山流、琴古流)のいずれかを選択して学びます。

Point 2
演奏を通して技術や感性を磨き、基礎的な音楽能力を高めます。

Point 3
学生同士だけでなく、教員とも合奏し、体験的に学びます。

Student's voice

向上心を刺激される毎日。
大変だけど楽しい！



桑原 登志子 さん
音楽科/邦楽コース/1年

趣味として楽しんでいたお琴の演奏技能を上げたくて、本学へ進学しました。入学前は特に意識していなかったのですが、姿勢や調絃、音の出し方、他の演奏者との呼吸の合わせ方などをここで改めて教わり、演奏者としてあるべき心構えを学びました。一人で演奏するだけでなく、たくさんの方と合奏できることも、音楽をやる上での大きな喜び。音大にいるからこそ経験できることは山ほどあるので、先生方、先輩、同級生のみなさんとのつながりも大切にしていきたいです。

Faculty's voice

納得のいく音楽を生み出す、
その努力を継続できる人に。



音楽科/邦楽コース
星田 一山 講師

壁にぶち当たると「私には向いてないのかも」と思ったり、周りの人と自分の進捗を比べて落ち込んでしまう人がいますが、大事なのは「続ける」ということです。意外に思われるかもしれませんが、プロにも練習嫌いの方はたくさん居られますし、壁にぶつかることだってしょっちゅうあります。けれどもプロは、自分の中で確立された理想形に到達するまでは、いかに大変でもあきらめません。自分が納得いくまでひたすら、新しい技術を開発しながら、日々練習をし続けます。あなたにも、「自らの思い描く音楽」「届けたい音楽」がきっとあるはず。私たちと一緒に、それをカタチにしてみませんか。